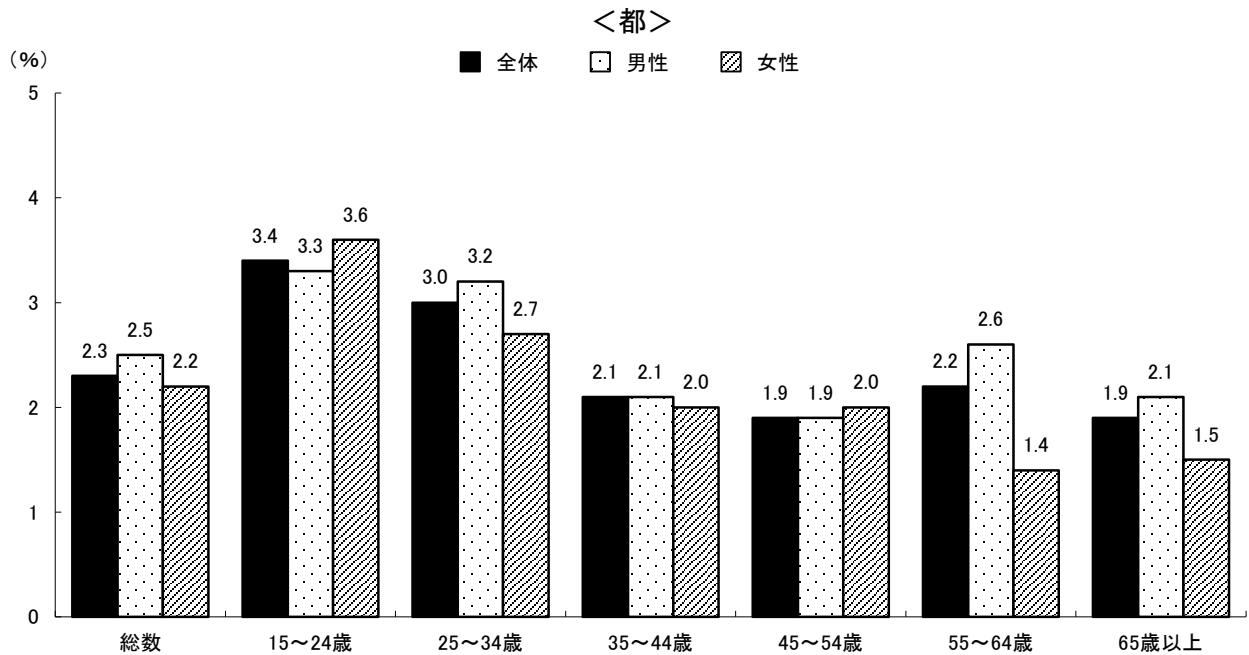


Ⅲ－３ 若年層への支援

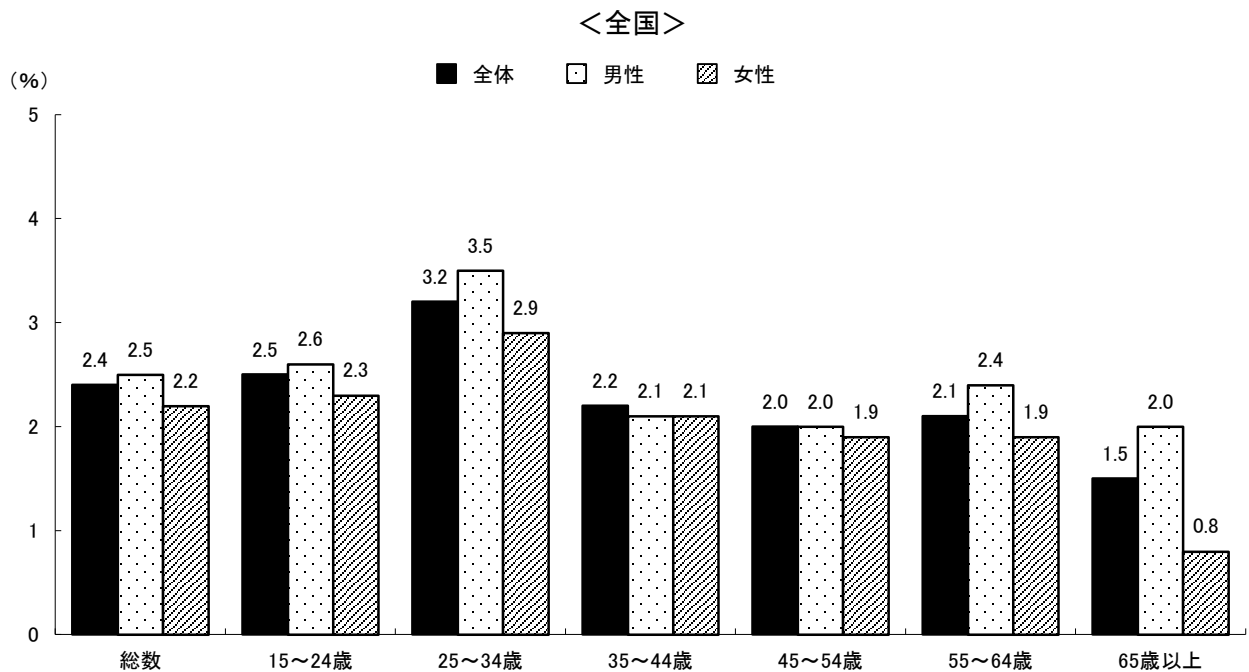
1. 完全失業率

令和元（2019）年の都の完全失業率は、男性 2.5%、女性 2.2%で、全国と同じ水準である。女性よりも男性の方が高く年齢階級では 25～34 歳が最も高い。男性と女性との差は、都では 55～64 歳で、全国では 65 歳以上で拡大する傾向がある。

図表Ⅲ－３－１ 性・年齢階級別完全失業率（都・全国）



資料：東京都総務局「東京の労働力」（平成 31 年・令和元年平均）



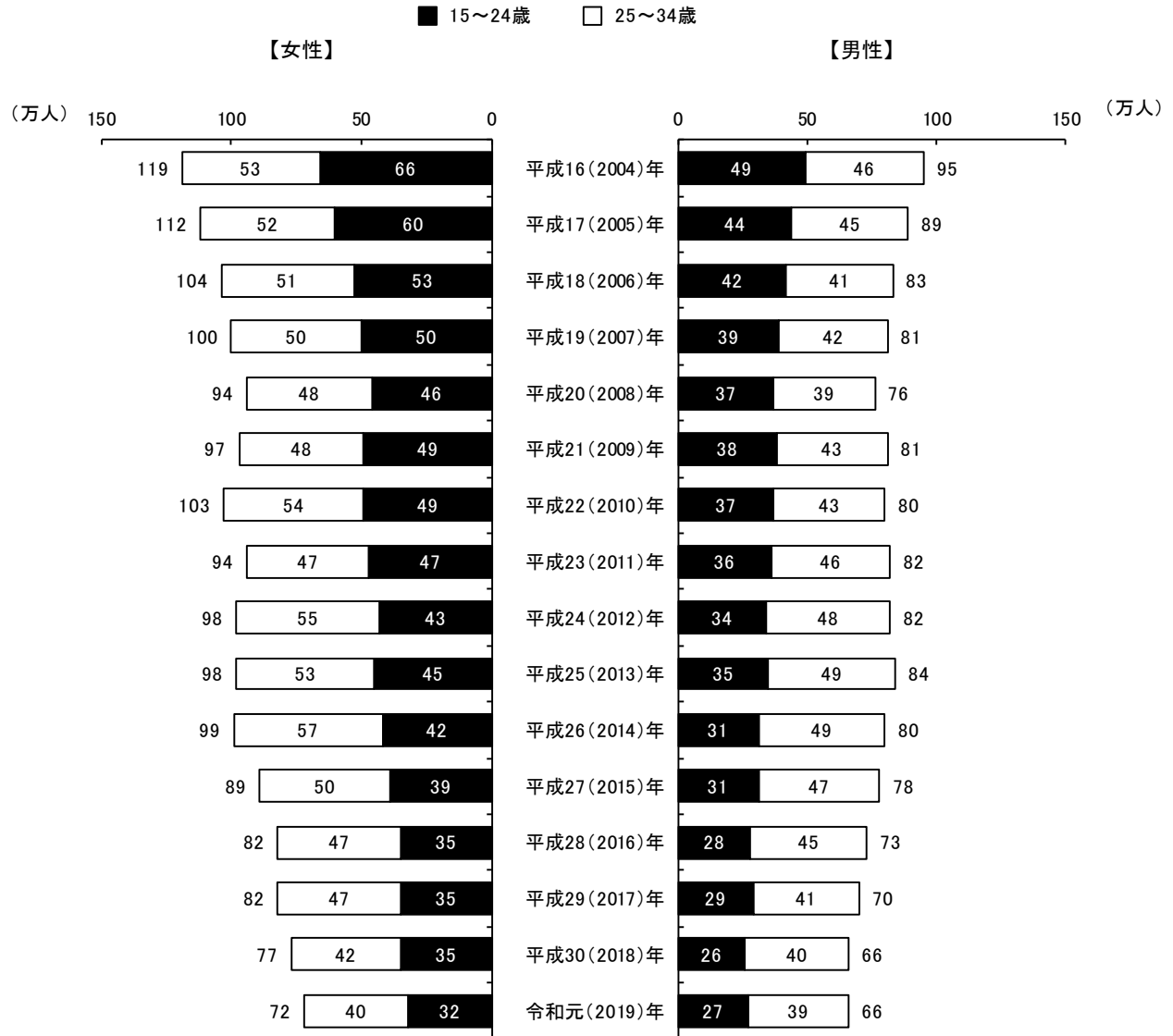
資料：総務省「労働力調査（基本集計）」（令和元年平均）

### Ⅲ 多様な人々の安心な暮らしに向けた支援

#### 2. 年齢階級別フリーター数の推移

全国のフリーター数は、令和元（2019）年で男性 66 万人、女性 72 万人である。平成 16（2004）年以降の推移をみると、男性、女性とも 15～24 歳を中心に緩やかな減少が続いている。

図表Ⅲ－3－2 年齢階級別フリーター数の推移（全国）



注1：ここでいう「フリーター」の人数は、若年層（15～34歳の男性（卒業生）、女性（卒業で未婚の者））のパート・アルバイト及びその希望者で、下記①～③の合計である。

- ①「パート・アルバイト」での雇用者
- ②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者
- ③非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で、家事も通学も就業内定もしていない「その他」の者

注2：平成23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。

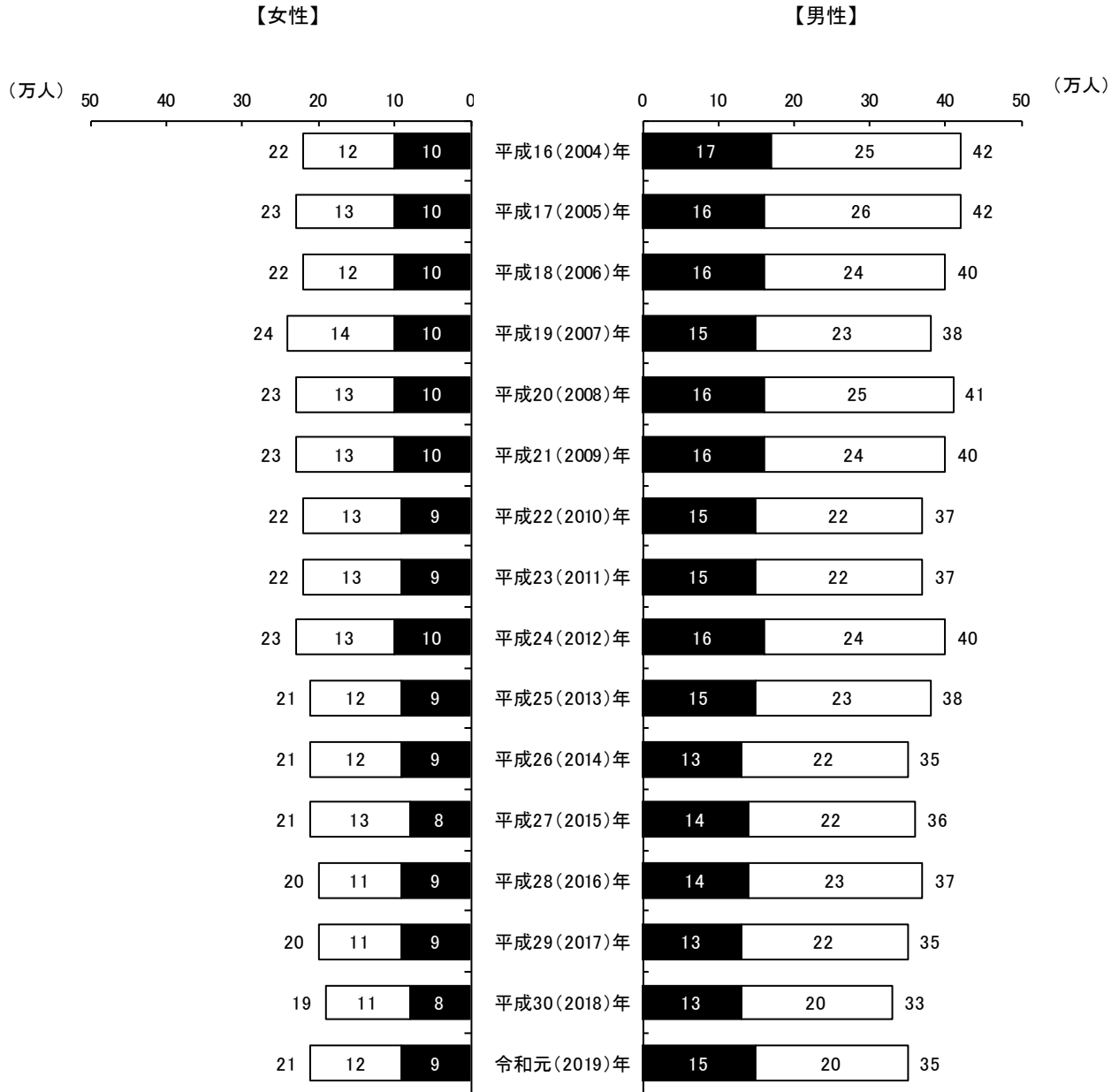
資料：総務省「労働力調査（詳細集計）」（令和元年平均）

3. 年齢階級別若年無業者数の推移

全国の若年無業者数は、令和元（2019）年で男性 35 万人、女性 21 万人である。男女とも平成 24（2012）年以降はゆるやかな減少傾向にあったが、令和元（2019）年は前年に比べやや増加した。

図表Ⅲ－3－3 年齢階級別若年無業者数の推移（全国）

■ 15～24歳 □ 25～34歳



注1：ここでいう「若年無業者」は、15～34歳の非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者。

注2：平成23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。

資料：総務省「労働力調査（基本集計）」（令和元年平均）